

*「こだまの会」は小金井玉川上水の自然を守る会の通称です。

News

史跡玉川上水及び名勝小金井（桜）整備活用のための作業説明会
2022年7月28日 18:00～19:30 緑センター

こだまの会では毎年開催される作業説明会に出席しています。今年は4名出席。名勝小金井桜の会からも多数出席していました。水道局の説明では、上水の樹木管理は遊歩道に看板を立て、約1カ月前に告知し、伐採予定の木には赤、剪定予定の木には青のテープが巻かれます。

小金井地区（茜屋橋－梶野橋間）は今年度、倒木・枯木・高くなり過ぎた木の処理作業を行い、下草刈りは8月、10月、2月の3回を予定しているとのことでした。

桜の会からの維持管理の要望に対して水道局は、「希少種もあり配慮は必要。生物多様性を可能な限り残す方針でやっている」と返答しました。他市で多様な樹木を残したいという市民の声が大きくなっており、その影響もあっての返答だと感じました。

News

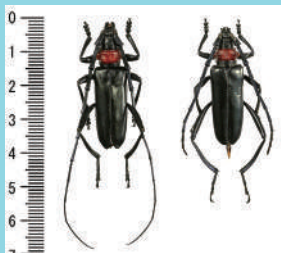
オオブタクサ除去 市と都が連携

6月下旬、茜屋橋の下流右岸にオオブタクサが生えていることに市民が気がつきました。オオブタクサは、外来生物法では要注外来生物に、日本生態学会では日本の侵略的外来種ワースト100に指定されています。侵略的外来種は、生物多様性を脅かす恐れがあるのです。オオブタクサは、種子が大量でどんどん増えるため、早めの対応が重要です。今回は、連絡を受けた小金井市や東京都が迅速に対応してくれました。



クビアカツヤカミキリ被害拡大 玉川上水にも。

クビアカツヤカミキリの幼虫は桜やウメなどの幹の中で育ち、穴をトンネル状に開けて木を枯らすため特定外来種に指定されています。国内に広く分布し、東京では福生などで広がってきています。発見した場合は関東地方環境事務所048-600-0817、自治体窓口まで連絡が必要です（環境省外来生物対策室）。



木の根元に溜まったフラス（幼虫のフンと木くず）

*被害の拡大防止のためその場で駆除するように！クビアカツヤカミキリの飼育、譲渡、放虫、販売は違法。飼育やその場から移動させてもいけない。もう一度自然に放すなどはもつてのほかです。違反すると個人の場合は最大300万円の罰金または3年以下の懲役、法人の場合は最大1億円の罰金が科せられます。

玉川上水

こだま通信

発行：小金井玉川上水の自然を守る会 代表：橋本承子／田頭祐子
E-mail: kodama2107kodama@yahoo.co.jp
https://kodama201803.jimdo.com

2022年9月25日 No. 11

玉川上水の柵が変わった、お隣小平の場合

柵の設置と管理は地元市民との協議を！！

玉川上水は複数の自治体にまたがっており、フェンスは東京都建設局や地元自治体が管理し、デザインや高さが統一されていません。

今年5月1日、突如、小平市内の柵の一部が付け替えられ「黒柵」になりました。景観への配慮などを懸念した、植物の観察会などを行っている小平市民が、柵を管理する東京都西部公園緑地事務所に連絡したところ、「史跡玉川上水整備活用計画」に基づき、2016年から杉並区からの付け替えを行っていて、今年度は小平市内の新小川橋から久右衛門橋まで付け替える予定との説明でした。協議の結果、今年度は工事をしないことになりましたが、地元市民に親しまれている玉川上水なので、東京都には、地元自治体や地元市民と協議することを大切にしたいです。



- ①小平市内、西中島橋付近は、橋の左右で柵の形状が異なる。左は既存の低い擬木柵。右側は新しく付け替えられた黒い擬木柵（高さ約1.2m）
- ②「黒柵」は既存の柵より高く1本1本の間隔が狭い。

突然柵が変わったので市民はびっくり！

あんな柵 こんな柵



③小平市の小金井橋から西の柵（五日市街道側）フットライト付きの低い柵。④小金井市と武蔵野市との市境。高低差あり。武蔵野市側はフットライト付きの低い柵。⑤桜の鋳物付きの金属製の柵。30年前の議事録によると「ふるさと創生事業交付金1億円で取り付けられ、当時から桜の鋳物や柵の高さに対し、非常に批判があった」ようです。五日市街道沿いは桜の鋳物は付いていません。



今夏も玉川上水遊歩道の地表温度を測定しました

樹木の残る地表温度平均は 42.0℃、皆伐された地点平均は 61.2℃

測定したのは猛暑日の6日間（PM1時～2時）。樹木の残る「行幸の松」地点と、2年前、桜以外の樹木が皆伐されてしまった「介護施設かたくり前」の2カ所については、下記の結果となりました。かつて、「介護施設かたくり前」は樹林で冷やされた風が通りぬけて、居心地の良い場所でした。

| 2022年 温度差が大きい日 | 伐採予定地区 | 皆伐地区 | 地表温度差（最大） |
|-------------------|---------------|--------------------|-----------|
| 8月10日 | 行幸の松 39.7℃ | 介護施設かたくり前 62.5℃ | 22.8℃ |

夏は桜も辛そう。
生き物みんな、ある程度の木陰と
湿り気を欲しがっている！



**！ 玉川上水上流に日本最大の
物流センターGLPが計画されている。**

（2024年着工、2028年完成予定）

GLP（世界的な投資会社：本部所在地シンガポール）の予定地となっているのは昭島市。西武立川駅から上流の上水南側に現在ゴルフ場（昭和の森）とホテル（昭和館）がある広大な土地です。そこが買収され、大規模な物流センターになる予定です。アカマツ、コナラなどの林があり、地元では「代官山緑地」と呼ばれています。また、ゴルフ場の玉川上水流域は日当たりや風通しがよく、季節に応じた多種類の草花もあります。この面積にして59ヘクタールに倉庫やビルが建てられ、GLPの予想では交通量は大型車1100台/日、普通車4700台/日。日当たりや風通しが悪くなり、排気ガスと騒音の増加は必至です。玉川上水沿いの植物や野鳥など自然への悪影響は甚大になると思われます。



玉川上水についてのアンケートへのご協力ありがとうございました。

アンケートには2021年11月19日から2022年4月15日までに498通の回答がありました。アンケートは続けていますが、「玉川上水みどりといきもの会議」では498通の回答をいったん集計し、結果を冊子にまとめました。ほんの一部をご紹介します。

回答者は小金井市の方が37%で最多でした。ご協力ありがとうございました。

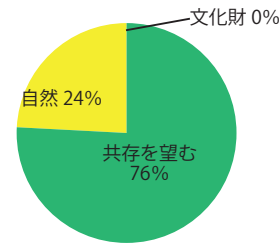
Q5「玉川上水では自然または文化財の保存優先か？どちらも共存か？」

Q6「名勝小金井桜指定地区では、桜が優先か？他の樹木との共存か？」

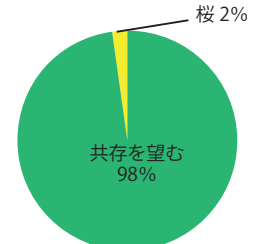
への回答は、どちらも共存を望む声が大多数です。特に、桜以外の樹木はなくすべきとの回答はほとんどなく、桜を被圧しない程度で他の樹木との共存を望む声が98%となっています。このアンケート結果と、桜以外の樹木がほぼ皆伐されてしまった今の姿を見ると、多くの市民の声を取り上げないまま進められていることがわかります。



Q5
自然か文化財か
共存かについて



Q6
桜か共存か
について



詳しい結果や多くのご意見が見られます。「玉川上水みどりといきもの会議」のブログをぜひご覧ください。



玉川上水みどりといきもの会議 → アンケート → をクリック

小金井市生涯学習課と懇談 2022年7月8日 第一庁舎

出席者：生涯学習課3名/こだまの会3名

玉川上水についてのアンケート冊子（上記）と『法面^{のりめん}と樹木についての考察』を渡して意見交換をしました。

こだまの会からは、「桜に影響しない樹木は残すはずが配慮されていないこと、伐採後の法面の検証を望むこと、桜若木が多数枯死していること」、等の意見を出しました。市側は、「浮世絵の風景を復活させ文化財保護をする」、という考えの下、「草花と共存させ桜以外も残せる木は残してきた。法面の学術的調査は市ではできない。生き物だから枯死する桜もある。」との話でした。また、「意見交換しても折り合わない部分はある」と言われ、樹木は桜だけにしたいという市の思惑を感じざるを得ませんでした。